



# 明倫

舞鶴市立明倫小学校

平成30年10月31日



## 行事をとおして

グラウンドの木々も色づき、秋の深まりを感じる今日この頃です。9月の終わりから10月にかけて、多くの行事があり、子どもたちの成長を感じる場面を多く見ることができました。

全国藩校サミットでは藩校があった藩主の子孫の方が全国から舞鶴にいらっしやいました。6年生は藩主の方々の先導役と論語の発表を行い、多くの拍手をいただきました。言葉を覚えることができず苦労した人もいましたが、本番では大きな声で発表することができました。このような大きな大会に参加する機会はいはめつたにありません。思い出に残る経験になったことでしょう。

7月に予定していた「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」が西日本豪雨の影響で延期になっていましたが、10月に実施することができました。本校の卒業生である齋藤里香さんをお迎えしてオリンピック・パラリンピックのフラッグを京都府の代表として引き継ぎました。齋藤さんからは北京オリンピックで6位に入賞したときの映像を見ながら、自分がオリンピックに向けてどのように努力してきたかを話していただきました。齋藤さんが小学生の時と校舎もグラウンドも変わっていないことを話されたので、子どもたちはオリンピックへ出場することを身近に感じていたようです。もちろんオリンピックに出ることは、そう簡単なことではありません。しかし自分で夢を持ちその夢に向けて努力すれば夢がかなうこともあることを理解していたようです。

齋藤さんからは夢を持つことの大切さや、その夢に向かって強い気持ちで努力することの大切さを教えていただきました。

このように、行事の取組をとおして子どもたちは成長していきます。対外的な行事だけでなく、運動会や校内マラソン大会など校内の行事でも多くの経験をしています。いい思いばかりでなく悔しい思いや残念な思いをすることもありますが、このことを次のエネルギーにできるといいと思います。

校長 池田 弘一

## すばらしい先輩方

この夏インドネシアのジャカルタで行われたアジア大会では多くの日本選手が活躍しました。パラグライダーという競技で男子クロスカントリーチームはみごと金メダルを獲得したのですが、その中の一人に明倫小学校の卒業生がいらっしやいました。岩崎 拓夫さんという方ですが、平成7年度の卒業生です。この岩崎さんはオリンピックで入賞したことがある山口有希さん齋藤里香さんと同級生です。同じ学年にオリンピックの入賞者が二人、アジア大会の金メダリストが一人いらっしやるといえるのはすばらしいことです。

明倫小学校にはすばらしい先輩方がたくさんいらっしやいます。スポーツだけでなく様々な分野で活躍されています。明倫小学校の誇りです。